

増税なしでも国の債務は完済できる

—シカゴプランによる貨幣改革の最近の動向

日本未来研究センター理事長 山口薫
やまぐち かおる

- *なぜ債務危機が起きているのか
- *経済社会は未経験の領域に入った
- *現在のシステムでは危機解決はない
- *システムを変える選択肢が必要に
- *闇に葬られたシカゴプラン
- *シカゴプランで債務危機は解決する
- *テコを入れて動かせば全体が変わる
- *世界がシカゴプランに注目し始めた
- *政府が貨幣を発行し国債を償還
- *公共貨幣システムで世界は活性化



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は山口先生に来ていただきました。経済倶楽部では初めてです。パークレーで数理経済学を専攻されて、先ほど伺いましたら今度連銀の総裁になられた方がパークレーで教えていたのと同じ時期だそうです。

これまで、この講演会でもアベノミクスについては賛否両論のご意見を専門家の方々に伺ってきました。しかし、もう一つの問題は、この政策が正しいか正しくないかということではなく、もうすでに政策は実施され、ある意味でベースマネーを増やすということが進められ、国債が累増する中で、今、マネーがジャブジャブになっていくわけです。

これは日本に先立ってヨーロッパ、アメリカ

が採ってきた政策ですが、これをどういうふう
に始末をつけるかについてはまだはっきりしない
状況が続いています。引き締めという話が出
ればすぐ市場が反応するというような状況もあ
る中で、先行きの見通しについては非常に難し
いというのが大方の見方だろうと思います。

そういう中で、シカゴプランという、まったく
新しい観点から貨幣の改革を進める中でこの
問題を解決するという一つの提案が、先進諸国
の中でもかなり議論されるようになってしまし
た。日本ではこの話はほとんど紹介されており
ませんので、今日は山口先生から、シカゴプラ
ンについて、貨幣改革をどのように進めたら今
起きている問題の解決ができるかというお話を
していただきます。